



「暮らしのとなりが産地です。」 埼玉県知事による青果物トップセールス！

埼玉県知事による青果物トップセールス

- 期日：4月20日(金)
- 場所：大田市場 東京青果(株)
- 主催：埼玉県、JA埼玉県中央会
- 内容：埼玉県産青果物の展示や野菜の配布等

■ 埼玉県主力JAの組合長が勢揃い！

埼玉県の上田知事とJA埼玉県中央会の坂本副会長による埼玉県産青果物のトップセールスが、大田市場で開催されました。産地より、県内主力JA（いるま野、埼玉中央、ちちぶ、埼玉ひびきの、南彩、くまがや、さいかつ、さいたま）の組合長と各JA農産物キャンペーン隊などが集まり、盛況に行われました。

せり台近くには、県を代表するねぎ、ほうれんそう、さといも、やまといも等18品目が展示され、今回はこの時期に出荷されている主要な埼玉県産青果物であるきゅうり、ブロッコリー、トマト、こまつな等からランダムに2品目を加えた野菜セットと埼玉県産農産物のPRパンフレットが入った200袋が市場関係者に配布されました。

埼玉県の上位品目は、全国1位がこまつな（占有率15%）で、2位がねぎ（同13%）、ブロッコリー（同10%）、ほうれんそう（同11%）、さといも（同11%）等7品目となっており、野菜生産額は全国7位で占有率は4%を占めています。（H27年農林水産省統計）

■ 大消費地に近い利点をPR！

埼玉県の上田知事から「埼玉県は利根川や荒川に囲まれ水源が豊富で、山からの肥沃な土壌が運ばれ豊かな耕土となっています。野菜は、こまつな、さといもをはじめ、ねぎ、ほうれんそう等が全国でも上位で出荷されています。また、『暮らしのとなりが産地です。』のキャッチフレーズのとおりどの県よりも大消費地に近く、新鮮で美味しい多くの青果物を一年を通じて大田市場に出荷しています。これからも埼玉県産青果物の取扱いをよろしくお願いします。」、JA埼玉県中央会の坂本副会長から「今年の1～2月は冷え込みにより青果物の生産量が減り皆様に心配をおかけしましたが、気温上昇から生育は回復傾向で、これからの春野菜は順調な出荷が見込まれています。今後も安定供給に心がけるのでよろしくお願いします。」と挨拶がありました。



埼玉県産青果物の展示



埼玉県産「やよいひめ」展示



埼玉県産青果物配布の様子



セリ台での埼玉県知事挨拶